

第10回 京都から発信する政策研究交流大会

特別テーマについての説明

1 テーマ「芸術文化を活かした都市政策」について

都市の品格と魅力を高めることにより世界中の人びとを魅了するための芸術文化政策、芸術文化を通したまちづくりを生み出すための都市政策、などといった観点が考えられます。

そのためには、例えば以下のような取組が必要となると考えられます。

(※ 以下は例示です。自由な切り口での政策研究を期待しております。)

- ・ 日本における多様な伝統文化・芸術・生活の文化、高い感性と匠のわざを備えた伝統産業など、有形無形の京都府内の各地の特性を守り育てつつ、府外の文化と異種交配することでイノベーションを起こす芸術文化環境づくりを行う。
- ・ こうした京都における芸術文化コンテンツの現在形、文化イノベティブ政策の動向を、広く国内外の人びとに伝え体感していただく。
- ・ 地域特有の芸術文化、伝統行事といった個性ある資源を生かし、地域の住人がイニシアティブをとって、魅力的な文化ツーリズムや誇りうるまちづくりを推進する。

2 テーマ「ワーク・ライフ・バランスを実現するための都市政策」について

現実の社会には、安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない、仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。これらが、働く人々の将来への不安や豊かさが実感できない大きな要因となっており、社会の活力の低下や少子化・人口減少という現象にまでつながっています。

それを解決するために、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現し、国民一人ひとりが仕事や家庭生活、社会貢献などにおいて、生きがいと充実感を得て人生を送れる環境をつくることが大切です。

そのためには、例えば以下のような取組が必要となると考えられます。

(※ 以下は例示です。自由な切り口での政策研究を期待しております。)

- ・ 誰もがともに能力を発揮できる労働環境の整備
- ・ 子育てや介護などの負担軽減のための支援の強化や男性の積極的な参加の促進
- ・ 地域活動に参加しやすい条件整備
- ・ 生涯学び続けられ、その学びを社会に還元することができる環境整備